

1 □にあてはまる数を考えながら、かけ算の式について考えましょう。

① 2つの式を見て □ に数を入れましょう。

3	×	2	=	6	
		↓ 2倍			
3	×	4	=	□	

かけ算やわり算の計算で成り立つきまりについて確かめましょう。



かけ算では、かける数が2倍、3倍、…になると、積も □ 倍、□ 倍…になります。

② $4 \times 6 = 24$ をもとにして、次のかけ算の積を求めましょう。

$4 \times 12 =$

$4 \times 18 =$

$4 \times 24 =$

2 あてはまる数やことばを □ に入れ、わり算の式について考えましょう。

28	÷	7	=	4	
		↓ × □			
56	÷	14	=	4	

56	÷	14	=	4	
		↓ ÷ □			
28	÷	7	=	4	

わり算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても同じ数でわっても □ は変わらない。

わり算の答えを漢字一文字で表すと？



3 かけ算とわり算の関係を考え、□ に数やことばを入れましょう。

① □ × 6 = 42

② □ ÷ 30 = 2

①は、□ 算 で求めます。

②は、□ 算 で求めます。

◎教科書 69 ページで、たし算や () を使った計算のきまりも確かめておきましょう。

◎ここで学習したことは、後から学習する 89・90 ページの学習につながります。

1 □にあてはまる数を考えながら、かけ算の式について考えましょう。

① 2つの式を見て □ に数を入れましょう。

$$\begin{array}{r} 3 \times 2 = 6 \\ \downarrow \text{2倍} \\ 3 \times 4 = \boxed{12} \end{array}$$

2 倍

かけ算やわり算の計算で成り立つきまりについて確かめましょう。



かけ算では、かける数が2倍、3倍、…になると、積も **2** 倍、**3** 倍…になります。

② $4 \times 6 = 24$ をもとにして、次のかけ算の積を求めましょう。

$4 \times 12 = \mathbf{48}$

$4 \times 18 = \mathbf{72}$

$4 \times 24 = \mathbf{96}$

2 あてはまる数やことばを □ に入れ、わり算の式について考えましょう。

$$\begin{array}{r} 28 \div 7 = 4 \\ \downarrow \times \boxed{2} \\ 56 \div 14 = 4 \end{array}$$

等しい

$$\begin{array}{r} 56 \div 14 = 4 \\ \downarrow \div \boxed{2} \\ 28 \div 7 = 4 \end{array}$$

等しい

わり算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても同じ数でわっても **商** は変わらない。

わり算の答えを漢字一文字で表すと？



3 かけ算とわり算の関係を考え、□ に数やことばを入れましょう。

① $\boxed{7} \times 6 = 42$

② $\boxed{60} \div 30 = 2$

①は、**かけ** 算 で求めます。

②は、**わり** 算 で求めます。

◎教科書 69 ページで、たし算や () を使った計算のきまりも確かめておきましょう。

◎ここで学習したことは、後から学習する 89・90 ページの学習につながります。